



かんれい

学校だより 第32号

発行 函嶺白百合学園小学校
足柄下郡箱根町強羅 1320
Tel 0460(87)6611
発行日 平成29年 12月 1日

詩を読もう 2年生

今週の国語の授業では、詩「いろいろなおとのあめ」と「空にぐうんと手をのぼせ」を読みました。「ぴとん、しゅるん、とてん」など様々な音の表現で書かれている「いろいろなおとのあめ」、初めてこの詩を聞いた子どもたちは、「なんだかおもしろい音!」とすぐにこの詩の魅力を発見。そして、みんなで声を合わせ、体を動かしながら読んでみると子どもたちらしい「いろいろなおとのあめ」ができました。「ぴとん」というところで小さく手をたたき、「ぽとん」で机を両手でたたいてみる子、「ぴたん」でお友達とハイタッチをしてみる子、それぞれが思い思いに音を体で表現しました。「空にぐうんと手をのぼせ」では、詩の言葉に沿って「ぐうん」と手をのぼしながら読んでみたり、海の大きな波・小さな波を体全身で表現したりと2年生の豊かな表現力が発揮されました。自由に想像をふくらませながら、詩のリズムや言葉の表現を楽しんだ授業となりました。



Welcome to our class! 3年生



オーストラリアから高校生が遊びに来てくださいました。3年生のおもてなしは、折り紙で富士山と一緒に作ることで。自己紹介や富士山の折り方を英語でできるように、たくさん練習しました。前日までは、難しい発音に悪戦苦闘し、途中で何度もくじけそうになった子どもたち。何度も何度も練習を重ね、「笑顔で」「楽しんでもらうこと」を目標に、いよいよお出迎えです!子どもたちの一言一言に反応を見せてくれるオーストラリアの高校生たち。その姿に、「しっかり伝わった!」と、コミュニケーションができた喜びを噛みしめている様子が見られ、私も一緒に感動してしまいました。ひとりひとりが練習以上の力を出すことができ、そして高校生たちにも喜んでもらえて、とても楽しい時間を過ごせました。英語でコミュニケーションする楽しさを感じ、ひとつステップアップできた経験になりました。

“Thank you. I had a really nice time.” 5年生



9月12日から2日間、福島にある British Hills で英語研修を行った5年生。小田原に集合した時からなんとなく緊張感が漂っていました。バスで福島まで向かい、ようやく British Hills に到着。門を入るとそこは日本ではなく、まさしくイギリス。その風景を目の当たりにし、「わあ、すごい」「本当に外国みたい」など皆、感激の声を上げていました。まずは私たちの宿泊するバラック棟でチェックイン。「Can I check-in please」と覚えてきた英語を使って皆無事にチェック

イン終了です。チェックイン後は2クラスに分かれて、早速 Lesson 開始。初めは緊張気味の5年生。部屋の外で待っている私たちに中からの声が聞こえてきません。大丈夫かしらと心配になりましたが、だんだん声が聞こえるようになり一安心。時間がたつにつれて外国人の先生にも積極的に話しかけることができるようになりました。

British Hills のスタッフとの会話は全て英語です。換金する時も tea room で注文する時もショッピングをする時もお食事の時に説明してくださる時も・・・その中で子どもたちは必死に先生方の言葉を理解しよう、自分の言葉を先生方に理解してもらおうとがんばっていました。2日目は緊張もなくなり、先生方との会話も楽しそうに行えました。あっという間の2日間。課題を見つけた子、英語に対してさらに興味を持った子、英語の楽しさを見つけた子が増えたような気がします。British Hills で学んだことをこれからの学習に生かしてほしいです。



修学旅行 6年生

いろは坂を上って向かった先には数々の滝が。緑鮮やかな木々と青空、清々しい空気に「気持ちいい〜！」と体を伸ばし大きく息を吸い、源泉に浸した十円玉の色の变化に歓声を上げていました。輪王寺では自分の干支の神様の説明を興味津々な様子で聞き、家康のお墓までの207の階段を元



気にのぼりました。有名な三猿、眠り猫をカメラにおさめ、膝小僧(子象)の由来に驚き、鳴竜の響きに感動し実り多い見学になりました。

何もかもに「恵まれた」。この旅行の感想です。めぐみ その1は、お天気。1日目のお昼過ぎまではどんよりしていたものの、それ以降は晴天。かなりのラッキーガールたちでした。めぐみ その2は、人。お世話してくださった方々がとても暖かく親切でした。特に、長い時間を共にしたバスの運転手 相原さん、ガイド

の伊藤さん、添乗の田中さんが その時々で 最良の提案・選択をしてくださいました。例えば眺望のよい所での停車、歴史的史跡やおもしろい看板の商店前での徐行、戦場ヶ原では木橋を歩き、湯滝の始点や足尾のゴリラ岩を見るなど。臨機応変な対応でワンランク上の欲張りな旅になりました。湯滝での田中さんの『足湯』(ブログをご覧ください)も、実は相原さんの提案でした！ めぐみ その3は、タイミング。見学がメインの3日目は他の修学旅行生とかち合うことがほとんどなく、日光の自然美・建築美にゆったりとひたることができました。貸し切り状態で男体山と戦場ヶ原を望み、華厳の滝では思い思いのポーズで写真を撮りました。午後の日光山内見学は、専門ガイド3代目という山崎さんが担当。簡潔明瞭な説明に感嘆すると共に、「そうなんだ～」と驚きや発見がいっぱいありました。改修を終えたばかりの陽明門を他の修学旅行生や団体がいない中でじっくり見ることができたのも、タイミングのおかげです。

ご家族をはじめ、書ききれないくらいたくさんの方の働きにより、楽しく充実した4日間を過ごすことができたことに、子どもたちと共に感謝したいと思います。修学旅行の思い出は、展覧会で発表(展示)しますので、ぜひご覧ください。

4年生が最上級生に！ 4年生



「4年生が最上級生に？」と疑問に思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、5・6年生が宿泊学習に出かけていた3日間、4年生が最上級生になりました。お姉さま方が出かける週の前の金曜日、「来週から、5・6年生がいないのだけれども、朝礼の進行や1年生のお世話はどうする？」という私からの問いかけに、「やります！」と即答した4年生。迷わずに返事が返ってきたことに私は驚きを隠せませんでした。そして「やるからには、責任が必要になってくる。それには、やりたい気持ちだけでなく、練習という努力が必要だ。」という話をし、本番をむかえることになりました。4年生のやる気に満ちた返事のとおり、放送の担当になった子は、本番直前まで話す速さや間の取り方を繰り返し練習したり、早く登校した子は、学校中の鍵や窓開けをしたり、各々が自分のできる限りのことをしていました。また、1年生のお世話も率先して行い、1年生と一緒に登校する姿には、頼もしささえ感じるほどでした。

役目を終えた4年生からは、「放送は、緊張したけれど、上手にできホッとしました。」「何をするにも練習が、必要だと分かりました。」「1年生のお世話は、大変なこともあったけれど、1年生はかわいいと思いました。」などといった感想が聞こえ、よい経験ができた3日間だったということがうかがえました。お姉様方の大変さも経験できたようです。今まではお世話されることが多かった4年生ですが、これからは、お姉様方をサポートしながら、下級生のお世話や学校の中心となって、進んで活動していくであろうことを期待しています。



枝豆を収穫しよう!! 1年生

待ちに待った水曜日。枝豆の収穫の日です。この日は、朝からそわそわしながらも、朝の準備がいつもより早く、準備万端の様子。とても楽しみにしていることが分かりました。そして、1時間目。畑に行ってみるとびっくりです。「すごい。」「いっぱいついている。」「枝豆ってこうできるんだ。」と、実がついた枝豆を見て大興奮。しばらく観察をして、収穫。「根っこからとるのですか。」と、収穫の仕方にも驚いているようでした。収穫したのは育てている枝豆の1/4程度。残りはそのままにして大豆になるのを待ちます。皆、ここからの変化も楽しみにしているようです。



収穫した枝豆は、教室に持ち帰り、国語の学習の教材に。枝豆の様子をよく見て、観察文を書く学習です。まず、「はっ見メモ」に気づいたことを書き、そこから文章にしていきました。皆、着眼点がよく、形やにおいも文章に書き表すことができました。そして、食べるための準備へ。さやを一つずつハサミでチョキン。「大変だー。」と、騒ぎながらも楽しそうに皆で作業をしました。食べるためにこのような苦労があったことも初めて知ったようでした。

クライマックスは、楽しみにしていた「食べること」!! 茹でていただきました。「あまくておいしいです。」「こんなにおいしいのは、はじめてです。」と、大喜び。「もっと食べたいです。」と、おかわりも。大切に育て、皆で収穫を喜び、おいしさも倍以上に感じたことでしょう。やはり、皆と一緒にいいですね。多くのことを学べた枝豆の収穫でした。



お知らせ

●平成30年度生 転入学試験

試験日：平成30年1月20日（土）

出願期間：平成30年1月10日（水）～16日（火）

●平成29年度 クリスマス発表会

12月15日（金） 開場 9：15 開会 9：45

会場 小田原市民会館 大ホール

●平成29年度 展覧会

平成30年2月24日（土） 10：30～14：30

25日（日） 10：00～14：00

※両日とも、入場は、終了30分前までとなります。